大張自治会報「おおはり」

200号記念・特集号！！

200号を記念してご挨拶を頂きました。

『大張自治会報第２００号発刊に寄せて』

お陰様で自治会報「おおはり」も２００号を迎えることが出来ました。これも地域の皆様のご支援があったことで、改めて感謝と御礼を申し上げます。

２０２２年４月の創刊から１７年余り。これまでの公民館がまちづくりセンターの名称に変えてスタートしました。この間いろんな出来事もありました。特に新型コロナが平成３０年に中国の武漢で発見されてから世界的に猛威を振るい、外出を見合わせ、マスク着用、在宅テレワーク、テレビ会議等々、またネットでの買い物が増加するなど生活スタイルを大きく変えました。そのような激変の中に於いて、毎月、毎月工夫された記事や写真、本当によく続けてこられたと思います。いろいろな活動をされた大張の皆さんとそれを取材し会報に掲載したスタッフの皆さんに改めて敬意と感謝を申し上げます。

人口減少、少子高齢化が進む中で多少の先行き不安はありますが、これからは、地方の時代が来るのかもしれません。

これからも面白い大張を自治会報に掲載し、皆様にお伝えが出来るよう次の３００号、４００号を目指して頑張って行きたいと思います。大張まちセンに益々の応援を宜しくお願いします。

大張自治運営協議会　会長　佐藤　安徳

『大張自治会報２００号に寄せて』

大張自治会報２００号の発刊を記念し、心よりお祝い申し上げます。誠におめでとうございます。地域の皆様と一緒に歩み、ここに２００号を発刊できることに、大変感謝しております。継続できることは、皆様の大きな力でございます。私も毎月大張自治会報を楽しく読ませていただいております。地域のニュース、行事等が一目で分かる掲載記事となっております。協議会では春夏秋冬の季節に合ったイベントの開催。私もできる限り出席させていただております。出会いとふれあい、皆様とのコミュニケーションを楽しみにしています。

自治会報は、先人皆様のお力があって続けて来られました。地域を盛り上げ、活性化を導くことにもつながり、引き続き「楽しい大張」「すばらしい大張」を皆様と一緒につくりあげたいと思います。

これからも地域の皆様にお伝えする情報誌として発刊を続けられ「大張自治会報３００号」も楽しみにしており、２００号に寄せての挨拶といたします。

大張自治運営協議会
前会長　中村　次男

『創刊２００号は大張地区民の活動の足跡』

平成２２年４月、大張まちづくりセンター発足と同時に「大張自治会報おおはり」が創刊された当時の地区人口９９９人は、現在６１４人まで減少し、この間、丸森西中学校、大張物産センターなんでもや、大張小学校、大張児童館が閉鎖となりました。

また、東日本大震災・東電福島第一原発事故、令和元年東日本台風大災害、新型コロナウイルス感染拡大など、厳しい時代背景でしたが、自治会報は１６年余、ひと月も休むとこなく、地区の行事や催事、住民の活動を伝え、本年１１月２００号の発刊となりました。

会報が２００号に至ったのは、大張地区民の沢山の活動や地域づくり活動、良好なコミュニティ存続があったからこそです。

今後も、人口減少時代にあっても世代を繋いで誇れる大張地区にと思うばかりです。

結びに自治会長はじめ職員方々に心からの敬意と感謝を表し、大張地区の持続的発展を願い２００号発刊のご挨拶といたします。

前丸森町議会議員（顧問）大槻　正儀

『大張自治会報２００号発行を祝して』

～地域の絆を未来へ～

大張自治会報「おおはり」２００号の発行、誠におめでとうございます。

これまで長きにわたり地域の出来事や行事、住民の皆さんの活躍、暮らしに役立つ情報を届けてこられた関係者の皆様に、心より敬意と感謝を申し上げます。自治会報は、単に情報を伝えるだけでなく、地域の歴史を記録し、人と人とをつなぐ大切な役割を担っています。紙面を開けば、懐かしい思い出や地域の仲間の笑顔がよみがえり、大張の歩みを振り返ることができます。一方、人口減少や少子高齢化が進む中、地域を守り、次の世代へ引き継いでいくことは、私たちにとって大きなテーマです。今後は世代を超えた交流と話し合いを大切にし、大張の自然や文化を生かし、移住者や若者に選ばれる地域を創らなければと思っています。地域の皆さんとともに歩む一人として、ふるさと大張がいつまでも元気で、笑顔と希望にあふれる地域であることを願っています。２００号を新たな出発点として、「住んでよかった、これからも住み続けたい大張」を目指し、皆さんと力を合わせてまいりましょう。

丸森町議会議員（顧問）　大槻　孝雄

『２００号記念発行への思い』

自治会報の発行に対し第１号から携わった一人として、とても感無量の思いであります。ここまで継続が出来たことは会長他、事務局職員のワンプレーの賜であり、更には協議会運営委員の皆様の一致協力してこられた証であると思います。振り返ると当時は大張小学校の児童も多く、秋の運動会も地区民との合同で開催、各地区対抗にて一日中大変盛り上がり、その後の慰労会は夜遅くまでの宴会を鮮明に覚えております。また下校後の児童は必ずと言っていいほどまちづくりセンターに立ち寄り、宿題やホールでの遊び、事務所にまで入り、「なぜノックもせずに入室するのだ」と注意した記憶があります。その人達も既に成人し、多くの場所で社会に貢献し活躍されている事を聞くたびに、当時のことが偲ばれます。少子高齢化が進み、地区がどうなるか心配されますが、まだまだ元気で頑張っておられる諸先輩の方々の知恵と経験をお借りしながら、２００号の発刊を機会に光り輝く地区であり続けていければいいなーと思います。

行政運営推進委員大張地区会
会長　大槻　光一（大張自治運営協議会　副会長）

『祝・２００号に寄せて』

「あー来た来た！」毎月満面の笑みで両手を広げ、待っていてくれる高齢の女性がいます。ほとんど外出することのない、彼女の一番の愛読書は自治会報「おおはり」。隅から隅までもれなく読むという彼女は、春の「桜を見る会」からはじまり、「盆踊り」「歩こう会」そして「敬老会」等々…たとえその場には居なくとも、紙面の中でみんなと一緒に歌い、踊り、おしゃべりをし、地域の人達と常に楽しく過ごしているよ…と話します。そんな言葉に触れる度、自然と手が伸び頭の下がる私です。

これまで、多くの方々の温かい思いが重なって毎月静かに、しかし着実に歩んでこられた自治会報「おおはり」。２００号発刊、誠におめでとうございます。

これから先も、地域に寄り添った３００号、４００号を目指し、住民の皆様と共に愛読書の一ページとして、次の世代に繋げて行かれます事を願い、２００号発刊に寄せるお祝いの言葉と致します。

大張自治運営協議会
副会長　八島　弘子

第１０１号から第２００号まで
残しておきたい（心に残る・忘れられない）紙面

令和元年 11 月（第 116 号）掲載
《丸森町を襲った台風 19 号》

台風 19 号の被害に遭われた皆様におかれましては、
心よりお見舞い申し上げます。

今月号は、紙面を変更して皆様にお届け致します。

10 月 12 日(土)、これまでに経験したことのない大型台風 19 号が直撃し、丸森町全体に甚大な被害をもたらしました。携帯の警告アラームが何度もなり雨風の音が激しくなり、自然の猛威の恐ろしさを目の当たりにしました。丸森町中心部は冠水し、すべての機能が止まりました。大張でも停電や浸水、土砂崩れや道路崩落等があり困難な生活を強いられました。避難所が開設され、大張まちづくりセンターも避難所になり数十名の方が避難生活を余儀なくされました。復旧までには相当の時間がかかりそうですが、たくさんの力をお借りして修繕作業を行っております。

皆さん、一歩ずつ前へ、そして乗り切っていきましょう！！





令和元年１０月、
丸森町を襲った台風１９号。
大張地区でも大きな被害が
あり、復旧に向け地域内外からた
くさんの力が寄せられました。
当時の紙面を振り返り、災害の
記憶と共に地域で支え合う
ことの大切さを改めて
感じます。

令和２年１月号（第 118 号）掲載
《台風 19 号の爪痕》



令和２年４月（第 121 号）
令和２年５月（第 122 号）
《コロナウイルス感染拡大防止の為、まちづくりセンター利用制限》

現在コロナウイルス感染拡大防止の為、まちづくりセンターの利用を一時制限(休止)しております。引き続き２週間の休止となりました。皆様には大変ご不便をおかけしておりますが、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。尚、状況が変わりましたら、各利用団体様には改めてお知らせ致します。

【休止期間：４月１日～４月１４日まで】

※尚、止むを得ず行わなければならない町や住民自治組織等の会議等は除きます。
（感染防止措置を徹底）

現在コロナウイルス感染拡大防止の為、まちづくりセンターの利用を一時制限(休止)しております。引き続き期間の延長が決定しました。皆様には大変ご不便をおかけしておりますが、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。尚、状況が変わりましたら、各利用団体様には改めてお知らせ致します。

【休止期間：４月１５日～５月３１日まで】

※尚、止むを得ず行わなければならない町や住民自治組織等の会議等は除きます。
（感染防止措置を徹底）

「コロナ禍で変わった私達の暮らし」
令和２年、新型コロナウイルスの感染拡大により、まちづくりセンターの利用制限や行事の中止など、地域活動にも大きな影響がありました。当たり前だった日常が大きく変わったあの頃。今振り返ると人と人との繋がりや集まることの大切さを感じます！

令和２年５月号（第 122 号）掲載
《マスクを作り配布！》

マスクを作り配布！



新型コロナウイルスが全国的に拡大し、大張まちづくりセンターの利用にも制限がかかっております。未だ施設の利用が出来ない状況が続いており、地域の皆様には大変ご不便をおかけしております。
そんな中、何か皆様のお力になれることはないかと考え、全国的にもマスクが不足していて買えないことから、手作りでマスクを作り欲しい方へ配布しよう！と、マスクを作成し、１５日の文書配布でお知らせをさせていただき、欲しい方へ配布しました。その後、河北新報にも記事が載り、問い合わせも増えております。マスクご希望の方は、どうぞまちづくりセンターまでお越し下さい。(数に限りがございます。)

マスクを作るにあたり、地域の方々から生地の提供を頂きました。ありがとうございました。

《子供用手作りマスクを提供いただきました》

子供用手作りマスクを提供いただきました。

１区の１、大槻奈保美さんより子供用の手作りマスクをいただきました。２２日、河北新報に掲載されたまちづくりセンターの記事を見てマスクを作っていることを知り、たくさんの子供用マスクを持って来て下さいました。奈保美さんも手作りでマスクを作っているそうです。ご提供いただき、ありがとうございました。

マスクはまちづくりセンターにて配布しますので、ご希望の方はお越し下さい。幼児、小学校低学年向けマスクです。(数に限りがございます。)

色んな柄の可愛いマスクがあります！



◉たくさん提供いただいたので児童館の子供達にもお配りしました。大変喜んでいました。

令和２年 12 月（第 129 号）掲載
《移動販売『せいきょう便』 11 月からはじまりました。》



～１１月から移動販売始まりましたよ～
日時：毎週金曜日【午後３時～30 分間】
場所：交流センター「なんでもや」前
☆皆様も是非ご利用下さい。

交流センター「なんでもや」を待合室として開放していただきました。寒くなるこれからの時期でも暖かい場所でお待ちいただけます。ご厚意ありがとうございます。

今も続く移動販売車「せいきょう便」
当時の「なんでもや」はなくなりましたが、現在も場所を変えず（株）美紀工業さんの前で毎週金曜日、午後１時４５分頃から販売しています。

令和３年５月号（第 134 号）掲載
《大張水道事業通水記念式典》

大張水道事業通水記念式典



４月２日（金）大張まちづくりセンターに於いて、大張水道事業通水記念式典が執り行われました。皆さんの願いでもあった水道が、135 戸に供用開始となります。
～安全で安心な給水が始まりました～

令和３年４月、長年の願いだった大張地区の水道が通水し、１３５戸への共用が始まりました。安全で安心な水が使えるようになり、地域にとって忘れられない節目の出来事でしたね！

令和３年 11 月号（第 140 号）掲載
《大満虚空蔵大菩薩 秘仏本尊御開帳》

大満虚空蔵大菩薩
秘仏本尊御開帳祭典

令和３年１０月２４日（日）多くの方々に御寄進をいただき、修復工事を終えた大満虚空蔵大菩薩福田堂において、１２年に一度の１０２回目となる秘仏本尊御開帳の祭典が行われました。





法要が行われ、多くの方が訪れました。





大張の歌姫、子供達、堂山神楽保存会の皆さんが祭典に華を添えてくれました。







令和３年１０月、修復工事を終えた大満虚空蔵大菩薩の秘仏本尊が御開帳され、福田堂に多くの方が訪れました。子供達による太鼓の演奏なども行われ、地域の歴史や伝統を感じる貴重な機会となりました。

令和３年11月号（第140号）掲載
《閉校となるため 子供達にとって大張小での最後の運動会！》

大張小学校全校体育

種目 ①徒競走 ②玉入れ ③リレー

新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期となっていた運動会が１０月２２日(木)、縮小して行われました。今年度で閉校となるため、大張小学校では最後となります。子供達は元気いっぱい力の限り頑張って競技に取り組んでいました。



閉校を前に行われた最後の運動会！
コロナ禍で全競技はできなかったけど、子供達の頑張る姿と笑顔がまぶしかったなぁ～(*^_^*)

生徒数２４名







一生懸命頑張りました！

頑張れ！大張っ子！！

小学校がなくなるのは寂しいですが、これからも変わらずに地域全体で子供達の成長を見守っていきましょう！

令和４年４月号（第145号）掲載　《小学校閉校記念行事》

思いを込めて・・・



子供達の演奏する和太鼓が懐かしい。
かっこよかったなぁ～(*^_^*)



閉校式典後に行われた記念行事では大張小学校での演奏が最後となる和太鼓や、学校生活での思い出を言葉と演技で表現し、思いを込めて披露してくれました。そして、大張小学校の卒業生でもある大張在住シンガーソングライターの佐藤多恵(Tae-chu)さんよる「夢教室」の記念講演がありました。子どもたちの成長とこれからの大きな可能性、多恵さんの言葉や歌に込めた思いに、閉校の文字だけ見ると寂しくなりますが未来は明るいのだと思えるとても貴重な時間でした。



これからも「大張っ子」の活躍を見守ります！





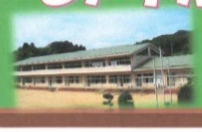
「ありがとう…」思いを言葉に。



多恵さんの言葉や歌が心に沁みました ～未来は明るいのだと…～

令和４年４月号（第145号）掲載 《大張小学校閉校・卒業式/修了・閉館式》

～148年の歴史に幕～ ありがとう、大張小学校。



大張小学校閉校式

3月5日（土）１０時より、大張小学校の閉校式が挙行されました。
（新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、限られた出席者と児童で行われました。）



大張小学校　校長
今藤良弘先生　挨拶

たくさんの思い出がある学び舎を去ることは寂しい事ですが、大張小で学べたことを誇りとし、勉強や運動に励んでほしいです。すべての方々が見守ってくれています。６年生は最後の卒業生。中学校ではたくさんの仲間と出会い、丸森町各地区の素晴らしさを感じとり、丸森町のために尽くすことができる人になってほしいと願っています。



今藤校長先生から佐藤純子教育長へ渡された校旗は、保科郷雄町長へ返納されました。

校旗返納



児童代表の挨拶
葉賀愛羅さん（６年）

長い歴史の中で最後の６年間を過ごすことができ、誇らしく思います。私達６年生にとっても、在校生にとっても新しい旅立ちだと思います。大張魂を胸に、これまで学んだことを生かしながら前に進んでいきたいと思います。
ありがとう、大張小学校。いつまでも僕たちを見守って下さい。





令和４年４月より、舘矢間小、大張小、耕野小の３校は新しい舘矢間小学校に。丸森小、金山小、筆甫小、大内小、小斎小の５校は新しい丸森小学校に再編します。



～閉校記念誌発行～



これまでの歴史と思い出のつまった閉校記念誌が発行され、大張地区各戸に配布されました。
（思い出スライドショーDVD付）
多くの方々の学び舎。そして、健康まつりや盆踊りなど地域住民との交流の場でもあった大張小学校。みなさんに愛され、一緒に歩んできましたが、令和４年３月３１日（木）閉校となりました。

ぜひ、家族だんらんの時に・・・。

大張小学校卒業式



大張小学校最後の卒業生は４名でした。
卒業式は一人一人となりましたが、仲間と共に生活した小学校での多くの経験や学びを生かして、中学校へ行っても、『頑張れ大張っ子！』

両親、先生方が見守る中、卒業証書を受け取り、色紙に書いた決意の言葉を堂々と発表しました。

閉校・閉館してからもう４年が経ちました！

大張児童館修了式・閉館式

３月２８日（月）大張児童館修了式・閉館式が行われました。

年長児童５名は名前を呼ばれると大きな声で返事をし、一人ひとりしっかりと修了証書を受け取っていました。そして、緊張しながらも将来の夢をハキハキと発表していて、とても立派でした。５名の皆さん、修了おめでとうございます。
小学校では、たくさんのお友達と楽しく元気に毎日を過ごしてほしいです。
修了式後には閉館式が行われました。昭和５８年に開館し、３８１名が巣立った大張児童館の歴史に幕を閉じました。



１４８年の歴史を刻んだ大張小学校は、令和４年３月に閉校しました。地域の皆さんに見守られ、多くの思い出とともに迎えたお別れの日。長年にわたり子供達の成長を支えてくれた学び舎に、感謝の気持ちを込めて「ありがとう」と伝えたいですね(*^^*)

令和３年11月掲載　大張っ子見守り隊が表彰！

『Hot』な話題 ～表彰されました～

防犯活動により、安全で安心な町づくりに貢献した功績を讃えられ令和元年８月２６日に発足した『大張っ子見守り隊』が表彰されました。【１０月１１日】
コロナ禍の為授与式は行われず、宮城県防犯協会連合会長、宮城県警察本部長連名の表彰状を頂きました。大変名誉なことです。
おめでとうございます。



令和４年４月掲載　沢尻棚田つなぐ棚田遺産に認定

『Hot』な話題 大張沢尻棚田「ポスト棚田百選」に認定！

３月２５日（金）丸森町役場でリモートにより認定式が行われ、沢尻棚田集落協定の皆さんが参列いたしました。

ポスト棚田百選とは…

平成１１年に農林水産省は優れた棚田１３４地区を「日本の棚田百選」に認定しました。認定から２０年が経過し保全活動が難しくなっていることから、令和元年には棚田地域振興法が制定され、棚田地域の活性化や多面的な機能をより一層の理解と協力を得るため、改めて優良な棚田を認定する「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～（ポスト棚田百選）」が実施され、４３７地区の応募の中から４４府県の２７１棚田が認定されました。（宮城県では登米市沢田地区との２ヶ所）



令和４年５月掲載　スクールバス登校開始

『Hot』な話題 小学校スクールバス登校がはじまりました！

４月８日（金）町内２校となった小学校の始業式。
大張の子ども達は、新たな学び舎となる舘矢間小学校へスクールバスで登校しました。少し緊張した表情も見られましたが元気に「いってきまーす！」とバスで出発しました。





会　長	佐藤　安徳		
副会長	大槻　光一	運営委員	八島　冨
副会長	八島　弘子	運営委員	伊藤　丈志
運営委員	村上　丞	運営委員	八島ゆり子
運営委員	大槻　光晴	運営委員	大槻　良江
運営委員	大槻　美穂	運営委員	伊藤　直美
運営委員	佐藤　昭	監　事	一條　智
運営委員	佐藤てる子	監　事	八島　正光
運営委員	佐藤　貞雄	監　事	佐藤　正敏

大張自治運営協議会